【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】令和2年7月16日(2020.7.16)

【公開番号】特開2019-64781(P2019-64781A)
【公開日】平成31年4月25日(2019.4.25)
【年通号数】公開・登録公報2019-016
【出願番号】特願2017-190262(P2017-190262)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　5/06　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　3/06　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　13/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　5/06　Ｂ
Ｂ６５Ｈ　3/06　３３０Ａ
Ｆ１６Ｃ　13/00　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和2年6月3日(2020.6.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
軸体と、前記軸体の外周に形成された弾性体層と、を備え、
前記弾性体層の周面には、凸部により凹凸が設けられており、
前記凸部が、球台状の凸部であり、
前記凸部は、前記弾性体層の周面に沿って軸方向と異なる方向に配列しており、前記軸方向と異なる方向の凸部の列とこれに平行な凸部の列の間が連続した凹部の溝になっており、
前記溝の幅が、前記凸部の列内の凸部離間距離よりも大きいことを特徴とする紙送りロール。
【請求項２】
前記凸部の上底が、研磨面であることを特徴とする請求項１に記載の紙送りロール。
【請求項３】
前記凸部の上底が、平面であることを特徴とする請求項１に記載の紙送りロール。
【請求項４】
前記凸部の上底が、前記凸部の球帯よりも曲率半径の大きい曲面であることを特徴とする請求項１に記載の紙送りロール。
【請求項５】
前記凸部における上底の直径ｒ１と下底の直径ｒ２との比（ｒ１／ｒ２）が、０．５０～０．９５の範囲内であることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の紙送りロール。
【請求項６】
前記凸部の上底との交点における前記凸部の球帯の接面と、前記凸部の上底と、のなす角が、１００～１５０°の範囲内であることを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の紙送りロール。
【請求項７】

前記凸部の高さが、０．０２～０．４０ｍｍの範囲内であることを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の紙送りロール。

【請求項８】

前記凸部は、前記弾性体層の周面に沿ってらせん状に配列していることを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載の紙送りロール。

【請求項９】

前記凸部は、前記弾性体層の周面に沿って周方向に対し±１０°以内の角度の方向に配列していることを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の紙送りロール。